

ACI での高速 LACP タイマーの設定

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[初期設定](#)

[設定手順](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連するシスコ サポート コミュニティ ディスカッション](#)

概要

このドキュメントでは、Cisco Application Centric Infrastructure(ACI)のポートチャネルに対して Fast Link Aggregation Control Protocol(LACP)タイマーを設定する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに特有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの内容は、特定のソフトウェアやハードウェアのバージョンに限定されるものではありません。ただし、ここに示したすべてのスクリーンショットとコマンドは、1.1(4e)ソフトウェアが稼働するACIファブリックで実行されました。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期(デフォルト)設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

この設定ガイドの冒頭では、ACIファブリックは、Nexus6000デバイスに向かうLeaf2ポート1/37-38のポートチャネルですでに設定されています。

設定

初期設定

ACIファブリックは、ACIリーフ名pod2-leaf2ポート1/37-38でLACPを実行するポートチャンネルですでに設定されています。ただし、このポートチャンネルでは、ACIリーフのsshセッションでコマンドを発行することで、デフォルトのLACPタイマーが実行されます。

```
pod2-leaf2# show port-channel summary interface
port-channel Port Channel interface
```

```
pod2-leaf2# show port-channel summary interface port-channel 3
Flags:  D - Down          P - Up in port-channel (members)
        I - Individual    H - Hot-standby (LACP only)
        s - Suspended     r - Module-removed
        S - Switched      R - Routed
        U - Up (port-channel)
        M - Not in use. Min-links not met
        F - Configuration failed
```

```
-----
Group Port-      Type      Protocol  Member Ports
Channel
-----
3      Po3(SU)      Eth       LACP      Eth1/37(P)  Eth1/38(P)
```

```
pod2-leaf2# show lacp interface ethernet 1/37 | egrep -A8 "Local" | egrep "Local|LACP"
Local Port: Eth1/37  MAC Address= 88-f0-31-bf-34-bf
LACP_Activity=active
LACP_Timeout=Long Timeout (30s)
```

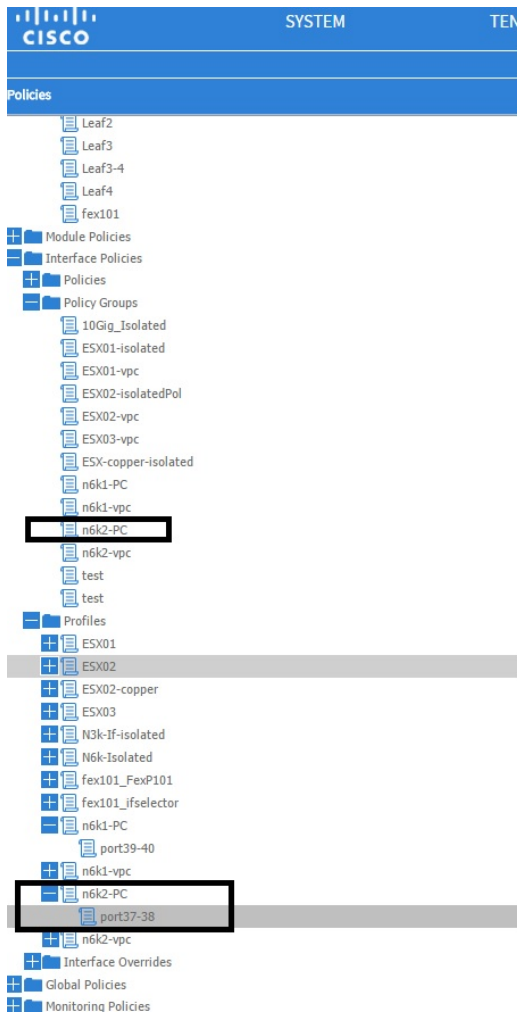
```
pod2-leaf2# show lacp interface ethernet 1/38 | egrep -A8 "Local" | egrep "Local|LACP"
Local Port: Eth1/38  MAC Address= 88-f0-31-bf-34-bf
LACP_Activity=active
LACP_Timeout=Long Timeout (30s)
```

GUIから見ると、ポートチャンネルはファブリック/アクセスポリシーに表示されます。

[Interface Policies] > [Profiles]に移動し、ポートチャンネルn6k2-PC (ポート37と38を含む) に名前を付けます

および[Interface Policies] > [Policy Groups name]を使用します。n6k2-PC

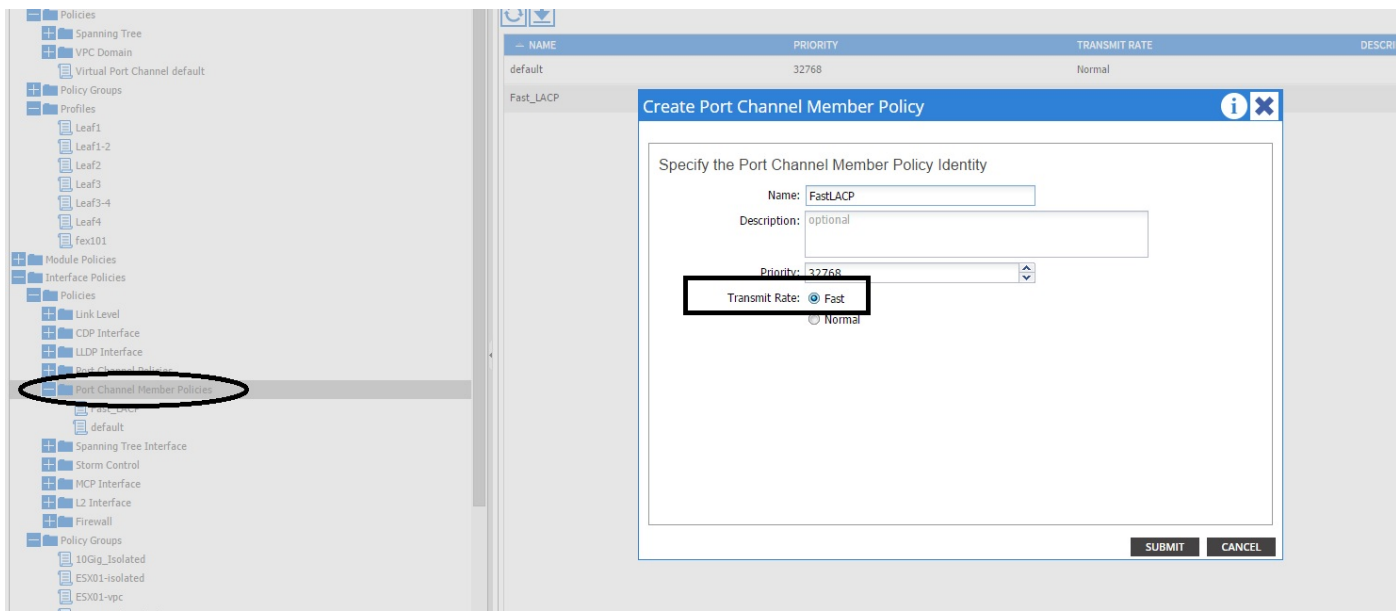
次の図に示すように、設定の場所。



設定手順

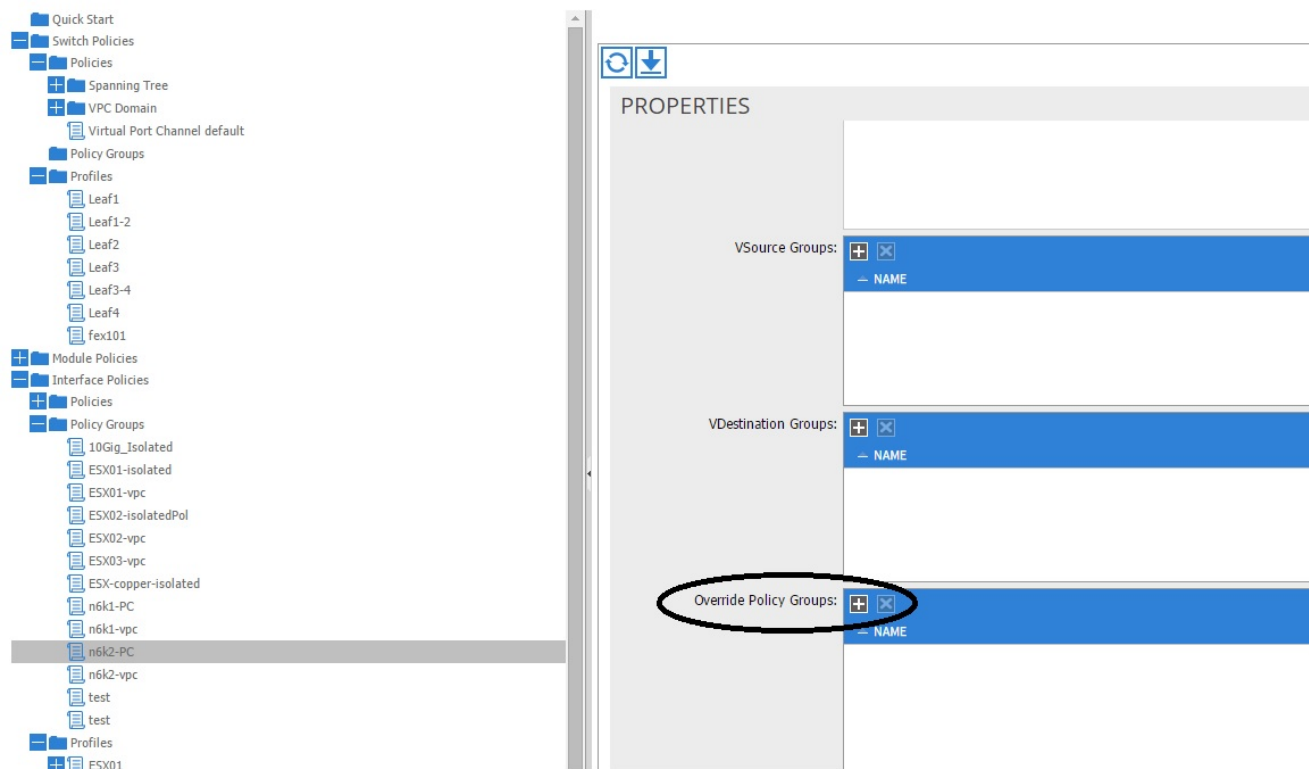
ステップ1:Fast LACPタイマーのポリシーを作成します。

1. [Fabric/Access Policies]、[Interface Policies] > [Policies] > [Port Channel Member Policies]の順に移動し、右クリックします。
2. ポップアップウィンドウ([Create Port Channel Member Policy])に名前 (ここではFastLACP) を入力します。
3. 送信レートを選択します。Fast.
4. [Submit]をクリックします。



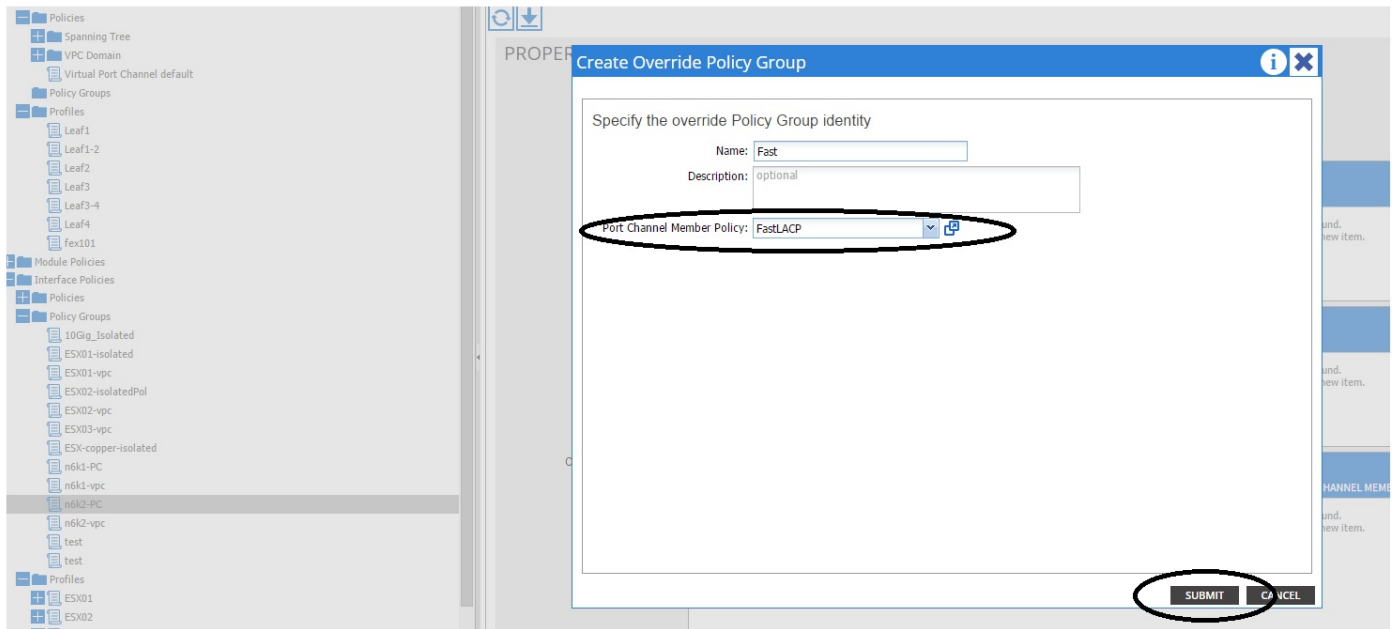
ステップ2 : ポートチャネルポリシーグループに上書きポリシーを追加します

1. [Fabric/Access policies] > [Interface Policies] > [Policy Groups]に移動します。
2. ポリシー名n6k2-PC (Fast LACPタイマーを適用するポリシー) を選択します。
3. 作業ペインで、オプションの下部に移動し、[Override Policy Groups]の横にある+ (プラス) アイコンをクリックします。



Screen clipping taken: 15/12/2015 13:45

ポップアップウィンドウ([Create Override Policy Group])で、名前(Fast)を指定し、手順1で作成したポリシーであるポートチャネルメンバーポリシーに追加します。(FastLACP)



Screen clipping taken: 15/12/2015 13:45

ステップ3 : ポートチャンネルを形成するポートのグループにこの上書きポリシーを追加します

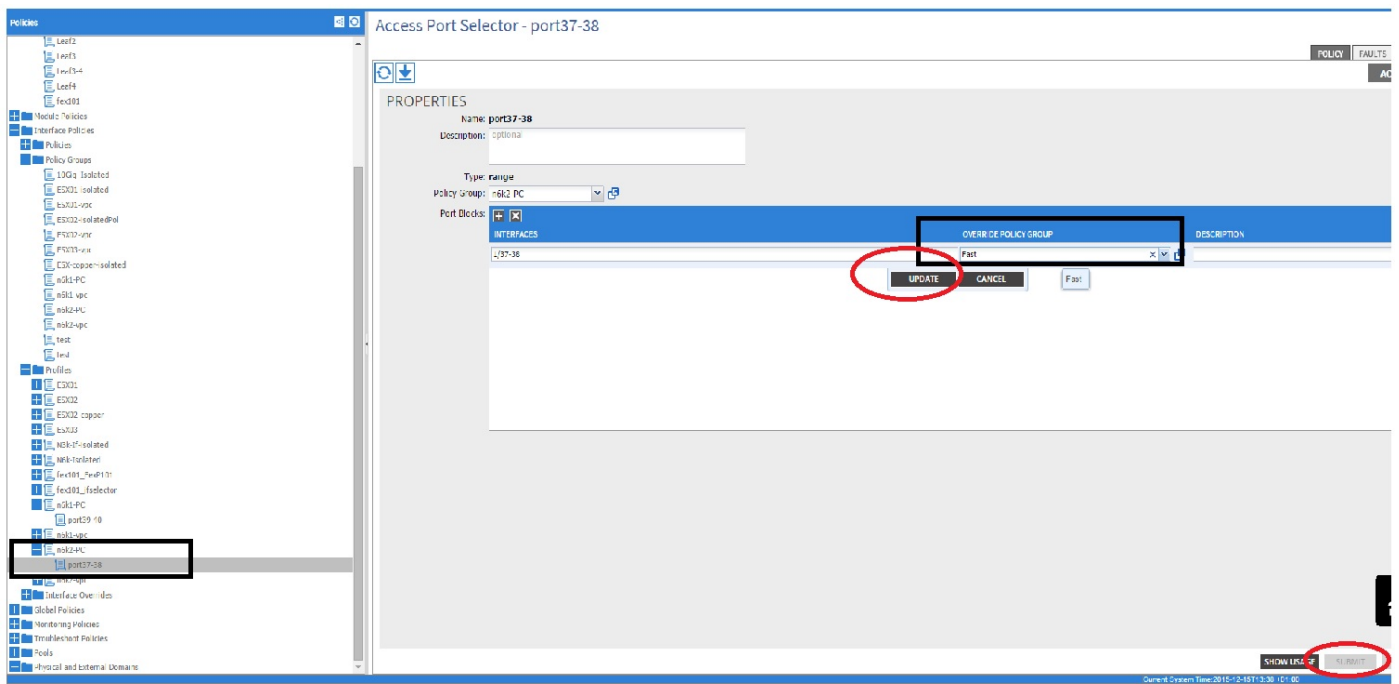
1. [Fabric/Access Policies] > [Interface Policies] > [Profiles]に移動し、

n6k-2-PC

2.作業ペインで、ポートグループの行をクリックし、[Override Policy Group]セクションの[Port 2 (name Fast)]で作成した上書きポリシーを追加します。

3. [Update]をクリックします

4. [Submit]をクリックします



設定はこれで完了しました。

確認

次のコマンドをリーフのsshセッションでチェックして、ポートチャンネルが実際にファストLACPパケットを送信するように設定されていることを確認します。

```
pod2-leaf2# show lacp interface ethernet 1/37 | egrep -A8 "Local" | egrep "Local|LACP"
Local Port: Eth1/37   MAC Address= 88-f0-31-bf-34-bf
  LACP_Activity=active
  LACP_Timeout=Short Timeout (1s)
pod2-leaf2# show lacp interface ethernet 1/38 | egrep -A8 "Local" | egrep "Local|LACP"
Local Port: Eth1/38   MAC Address= 88-f0-31-bf-34-bf
  LACP_Activity=active
  LACP_Timeout=Short Timeout (1s)
```

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。